



昼休みの練習風景。ノッカーは信号機や規制標識にボールをあてないよう、注意しながらボールを打ちます



今年開催された、第25回東日本選手権県大会。2連覇を果たし、11月には水戸で行われる本大会に出場します

東海自動車学校
軟式野球部
監督代行兼コーチ
津谷昌孝さん

29



東海自動車学校
軟式野球部
主将
堤渉吾さん

10



東海自動車学校
軟式野球部
副主将
村瀬充哉さん

21



東海自動車学校
軟式野球部
ピッチャー
藤村竜也さん

19



3連覇は通過点。目標はあくまでも全国優勝です。

information

東海自動車学校

大垣市領家町3-651
TEL 0120-15-6125
http://www.tokai-ds.co.jp

第30回記念東海選抜軟式野球大会

10/28(土)・29(日) 雨天順延

会場 / 大垣市北公園野球場



東海自動車学校の指導は担当制。コース選択から相談して、いねいにコミュニケーションをとりながら、一人ひとりに合った指導方針を考えます

エリートトレーニングなど、選手たちは自分で練習のスケジュールを設定。与えられたメニューに漫然と取り組むのではなく、少ない時間で効率的な練習を考える自主性が、接戦の試合で勝利をつかむ鍵となります。
野球での経験は仕事にも生かされています。「指導員」というと身構えてしまふ教習生も多いですが、野球の話をきっかけに積極的にコミュニケーションをとって信頼関係を築きます。現在では試合の応援に来る教習生も少なくありません。

地元や仲間の応援を糧に2度目の全国優勝を目指す

東海自動車学校軟式野球部は、数年前まで地域の子どもたちに向けた野球教室を開催していました。教室は好評で、「休みの日ならいつでも」という形で請け負っていました。しかし最近では自動車学校が土日祝も営業しているため、なかなか野球教室を開けずいます。それでも教室を通して交流した地域の人々からは、現在でもあたたかな目が向けられています。副主将の村瀬充哉さんは、「教習コースでの練習も、地域の人にはよく応援してくれたい」と笑顔です。
社内には野球部OBが多く、試合がある日はシフトを調整するなど協力的。会社と地域に応援される地盤が、東海自動車学校軟式野球部の強さの源です。去年入社したピッチャーの藤村竜也さんは、「いい結果を出せばPRにもつながるので、結果で恩返ししていきたいです」と強い決意を見せます。
次の舞台は、10月28日、29日に行われる東海選抜軟式野球大会。現在2連覇中で、今年は3連覇をかけた戦いです。「3連覇は通過点。目標はあくまでも全国優勝です」と、4人は声をそろえます。
チームは1度全国優勝を果たしていますが、現在のメンバーに経験者はいません。輝かしい成績を残した先輩に負けぬよう、4月からは新メンバーを加え、全国優勝に向けて新たな一歩を踏み出します。

不撓不屈の精神で全国優勝を目指す

東海自動車学校軟式野球部

「巻頭特集」

人材の育成を目的として、昭和48年に創部した東海自動車学校軟式野球部。「やるからには1番を目指そう」と、仕事と両立して妥協せずに練習を続けています。毎日、教習コースで練習をしながら、全国優勝を目指すチームを取材しました。



TOKAI
DRIVER'S SCHOOL

東海自動車学校

東海自動車学校軟式野球部のみなさん。ユニホームは、メンバーの意見を参考に、津谷さんがデザインしました



練習をする教習コースはアスファルトで、試合の時とは環境が違います。しかし軟式のボールはよく跳ねるため大きな違いはないと、明るく練習に励みます

豊富な経験を武器に強豪として活躍を続ける

大垣市領家町にある東海自動車学校。いつでも見たい映像を再生できるVOD(ビデオ・オン・デマンド)や、簡単に学べるコンピュータ学習機など、充実した設備を持つ自動車学校です。昼休みになると、教習コースからは大きなかけ声やノックの音が響きます。信号機や規制標識が並ぶコースでキャッチボールを始めたのは、数分前まで教習生に運転を教えていた指導員。シャーンで汗を流す姿は、仕事の中真面目な様子とは全く違う印象を抱かせます。
指導員たちが所属しているのは、東海自動車学校軟式野球部。会社の根幹である「人材」を育てるため、上司や部下の枠組みを超えたコミュニケーションを促そうと、昭和48年に創部されました。創部当初は社内の野球好きが集まって活動していましたが、「やるからには1番を目指そう」と、現在は野球経験者を優先して採用しています。
創部10年目となる昭和58年には初の全国大会出場を果たし、平成8年の国民体育大会準優勝、平成13年の政府管掌健康保険全国軟式大会優勝など、優秀な成績を収めています。現在の部員は監督、コーチを合わせて14人。1人は名古屋校で勤務していますが、時間を見つけて大垣まで練習に来ています。平均年齢は約33歳と、他の社会人野球チームより少し高め。しかし豊富な経験を生かし、岐阜県内に9チームしかないA級のチームとして活躍を続けています。